

第2次掛川市総合計画改定・ポストコロナ編  
基本構想改定案へのご意見の反映状況

	ご意見の概要（第1回審議会）	分野	反映状況
1	デジタル化は自然的に浸透していく時代になると思うので、そのような表現に変えた方がよい。	全体	前文を「デジタル化の浸透といった環境の変化を踏まえ」という表現に修正しました。
2	デジタル化は目的ではなく、活用する意味やメリットを戦略の中に表現していくとよい。	全体	全体的に、デジタル化が手段である表現に修正し、具体化しました。
3	いかに掛川らしいDXの推進ができるか、具体化に踏み込んでいくとよい。	全体	
4	デジタル・テクノロジーという言葉はコロナ時代に大切だが、人と人とのつながりの部分も入れるほうがよい。	全体	前文に「地域内で人や物が循環し」という表現を、 (1)⑤の方向性に「人との関わりや実際の体験」という表現を追加しました。
5	デジタル化の一方、人のつながり、人間らしさ、心の豊かさも大切だということを明記した方がよい。	全体	
6	SDGsの視点をしっかりと持った計画なので、計画の特長としてうまく表現した方がよい。	全体	前文に「SDGsをより一層推進し」という表現を追加しました。
7	「包摂的な」や「誰もが」が、具体的に読み取れるような表現とした方がよい。	全体	前文に「誰ひとり取り残されることない包摂的な社会を目指し」という表現を、 (2)⑤の方向性に「高齢者、女性、障がい者、外国人等」という表現を追加しました。
8	DXを進める中で高齢者が取り残されるというリスクがあるので検討してほしい。	全体	
9	地方分散が起きる前提ではなく、積極的に活用できるものをどうしたらよいかを考えた方がよい。	全体	(4)②の方向性に、「地域で集積されてきたヒト・モノ・コトの更なる充実と連携により」という表現を追加しました。 (5)①の方向性を「労働・産業・観光・生活等、様々な形でまちに関わる関係人口」、キーワードを「様々な形でまちに関わる関係人口」と修正しました。
10	循環という観点から、3つの日本一が、それぞれ相互に好影響をもたらすという考え方も必要だと思う。	全体	前文に「地域内で人や物が循環し」という表現を追加し、令和3年度改定の「第3部 基本計画」で具体的に明記します。
11	掛川市は各分野の女性活躍が非常に進んでいるので、そうしたすばらしい部分をもっと発信していくと良い。	全体	令和3年度改定の「第3部 基本計画」のほか、様々な機会に積極的にPRしていきます。
12	市民の方にもう少し身近な言葉で、相互コミュニケーションによる環境づくり、行政情報の開示といった表現にした方がよい。	全体	全体的に、文章表現を具体的でわかりやすく修正しました。

	ご意見の概要（第1回審議会）	分野	反映状況
13	「市民総ぐるみの教育」「地域ぐるみの教育」というキーワードを入れていただきたい。	教育	(1)①の方向性に「市民総ぐるみで」という表現を追加しました。
14	「掛川らしい」は具体的にどのようなものを指すのかを書いた方がよい。	教育	(1)③の戦略の柱を「伝統芸能や生活文化など掛川に根付く文化を継承するとともに、地域資源を活かした新たな文化を創造し」という表現に修正しました。
15	教育分野で、デジタルは手段であり、目的と現実の表現が逆転してしまっている。	教育	(1)⑤のキーワードを「デジタルと本物の体験による学びの機会の充実」に修正しました。
16	「本物の体験」という言葉が、実際のという意味なのか、質的に本物という意味なのかわかりにくい。	教育	(1)⑤の戦略の柱に「人との関わり、質の高い本物に触れる体験により」という表現を追加しました。
17	環境日本一の掛川市として、自助・共助・公助の視点を入れながら、環境ネットワークがしっかりしているまちとして、それぞれの役割をわかりやすく表現した方がよい。	環境	(3)④に、「市民の自助・共助により、ごみ減量化や再生可能エネルギー等、資源の循環を推進します。」という方向性を追加しました。
18	環境循環において、市民が循環の中において自分ごととして実感できる表現、地域にお金が回ることがわかるような表現が大切。	環境	
19	地域内循環を考える時に、新しい取り組みと既存の物のつながりはどうするか、検討する必要がある。	産業・経済	(4)②の方向性に「地域で集積されてきたヒト・モノ・コトの更なる充実と連携により」という表現を追加しました。
20	掛川には既に企業が広く集積し、良い循環を作っているため、既存の資産をさらに持続し活かすという工夫がより強みになると思う。	産業・経済	
21	働き方について、住むと働くという関係が希薄になっており、リモートワークと兼業・副業の推進が人材確保につながると思う。	産業・経済	(4)③の方向性に「リモートワークやワーケーション等自由に選択できる働き方により」という表現を追加しました。
22	働き方として、ワーケーションという言葉を入れた方がよい。	産業・経済	
23	計画の仕組みづくりとして、海外進出を含めた中小企業育成の支援機関の設置を検討していく方がよい。	産業・経済	令和3年度改定の「第3部 基本計画」で具体的に明記します。
24	世界に誇れるお茶を推進するために、抜本的な改革や具体的な施策はあるのか。	産業・経済	

	ご意見の概要（第1回審議会）	分野	反映状況
25	人口増の目標のためには、相当な少子化対策を打つ必要があり、差別化を図った掛川独自の具体的な挑戦をする必要がある。	シティプロモーション	(5)を分割し、③に「積極的な子育て支援や質の高い教育により若い世代が安心して暮らすことのできる環境を整えるとともに、柔軟な働き方の推進、移住支援、結婚支援等、あらゆる世代の多様な価値観やライフスタイルを支援し、選ばれるまちを目指します。」という方向性を追加しました。
26	関係人口として、何らかの形で掛川市のまちづくりに関わる人、色々な関わり合いを広げていくことが重要。	シティプロモーション	(5)①の方向性を「労働・観光・生活等、様々な形でまちに関わる関係人口」、キーワードを「様々な形でまちに関わる関係人口」と修正しました。
27	世界につながる産業は、観光客や移住等の人口拡大、人材交流、シティプロモーションにもつながると思う。	シティプロモーション	
28	感染症の対策については、市民ぐるみでしっかり理解し受け止め協力して行くことがとても重要。	安全・安心	(2)③の方向性に「市民一人ひとりが新しい生活様式を踏まえ感染症対策を徹底」という表現を、(6)⑤の方向性に「市民一人ひとりが高い防災意識を持った」、キーワードに「市民の高い防災意識」という表現を追加しました。
29	今後は、未知のことが起こるということを前提に、個人も変化して対応していくという文化・意識が必要。	安全・安心	
30	誰もが支え合うというのは、市民それぞれが役割を持つことなので、誰がどういう形で支え、支えられるのかを具体的に表現していくとよい。	協働	(2)⑤の方向性に「高齢者、女性、障がい者、外国人等」という表現を追加し、令和3年度改定の「第3部 基本計画」で具体的に明記します。
31	入口から出口まですべてデジタルで対応できるような、行政内部のデジタル完結を進める必要がある。	行財政	(7)③の方向性を「行政内部の積極的なDXの推進や」という表現に修正しました。
32	地域内経済循環はいいが、経済が不透明な時代の中で財源の問題が見えない。	行財政	(7)③の方向性に「地域資源の活用による経済の好循環を推進し、安定した財源確保を目指します。」という表現を追加しました。
33	全国的な人口減少に伴い、総務省は2040年には行政職員の半減という構想を立てているので、そういった動きを前提条件として考えていた方がよい。	行財政	(7)③の方向性を「柔軟で多様な人材育成と活用」という表現に修正し、令和3年度改定の「第3部 基本計画」で具体的に明記します。